

N8804-027

1000BASE-T 接続 LOM カード(4ch)

N8804-027L

1000BASE-T 接続 LOM カード(4ch)長期保守対応モデル

## ユーザーズガイド(第 1 版)

---

本書を熟読し、大切に保管してください。

### 構成品一覧表

本製品には以下のものが添付されています。確認してください。

品名	数量	備考
LOM カード	1	
保証書	1	組込出荷時は添付されません。 本体装置の保証書に記載されます。
安全にお使いいただくために	1	

※本カードを本体装置に組み込んでお買い求め頂いた場合、本体装置に添付された保証書が本アダプタの保証書を兼ねます。 本体装置の保証書に本製品の記載があるかご確認ください。

# 目次

使用上のご注意 -必ずお読みください-	4
安全に関わる表示について	4
本書で使用する記号とその内容	5
安全上のご注意	6
はじめに	10
本書について	10
本文中の記号について	10
1. 本製品について	11
1.1. 特徴	11
1.2. 各部の名称と機能	12
2. 本体装置への取り付けと取り外し	14
3. ドライバー/ファームウェアのセットアップ	15
3.1. ファームウェアのセットアップ	15
3.2. ドライバのセットアップ	15
4. トラブルシューティング	16
4.1. システムが起動できない場合	16
4.2. ネットワークに接続できない場合	17
5. 運用における注意事項	19
6. 仕様	20
6.1. 製品仕様	20
6.2. ケーブルについて	21

## 商標について

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Ethernet は 米国 Xerox Corporation の商標です

Intel は米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です

Broadcom は米国 Broadcom Limited の米国およびその他の国における登録商標です

Marvell, QLogic および Cavium は米国 Marvell Technology Group Ltd.の米国およびその他の国における登録商標です。

Hewlett Packard Enterprise および HPE は米国 Hewlett Packard Enterprise Development LP の米国およびその他の国における登録商標です。

PCI-Express は PCI-SIG の登録商標です。

Microsoft、Windows および Windows Server、またはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Red Hat、Red Hat Enterprise Linux は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

## ご注意

1. 本書の内容の一部または全部について、許可なく複製・転載・翻訳・他形式・メディアへの変換等を行うことは、禁止されています。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については、万全を期して作成いたしました。が、万一お気付きの点や、ご不明の点がありましたら、販売店または弊社までご連絡ください。
4. 本製品を運用した結果の影響については、上記 3 項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
5. 本書は、本体装置の操作に熟知した管理者、または保守員向けに記載されております。本体装置の取り扱いや、各種 OS の操作、その他一般的かつ、基本的な事柄につきましては記載を省いておりますのであらかじめご了承ください。

© NEC Corporation 2026

日本電気株式会社の許可無く、本書の複製・改変などを行うことはできません。



この取扱説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。



## 使用上のご注意

-必ずお読みください-

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

## 安全に関わる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書の指示に従って操作してください。

この取扱説明書には装置のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

取扱説明書では危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。

それぞれの用語は次の意味を持つものとして定義しています。









“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(\*1)を負うことが想定されること”を示します。

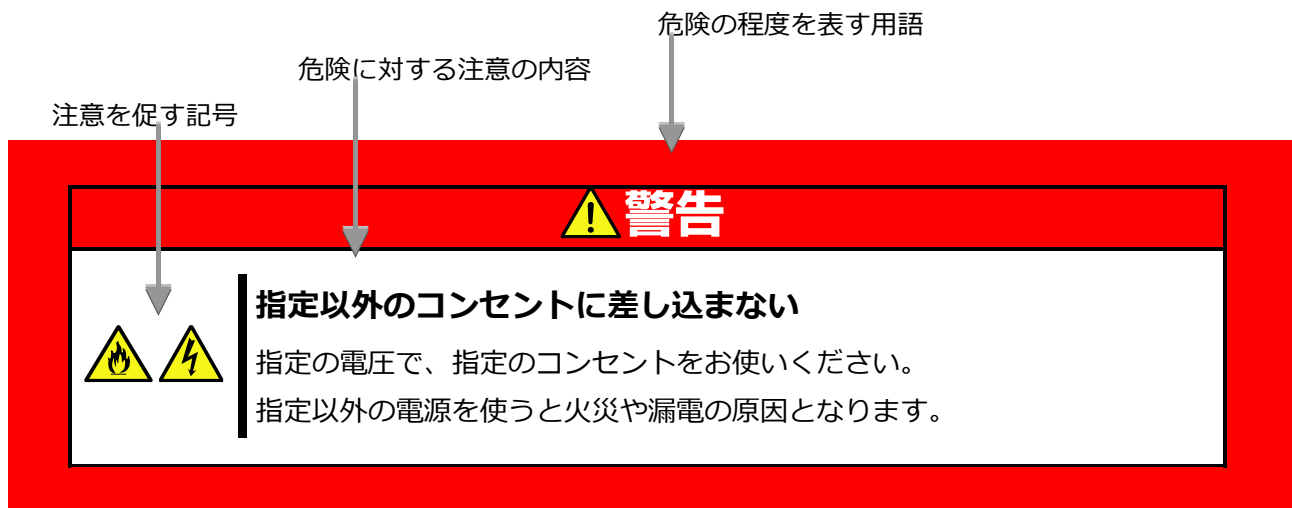


“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(\*2)を負うことが予想されるか、または物的損害(\*3)の発生が想定されること”を示します。

- \*1: 重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- \*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
- \*3: 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義しています。

	<b>注意の喚起</b>	この記号は、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	 (例) (感電注意)
	<b>行為の禁止</b>	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない内容を図案化したものです。	 (例) (分解禁止)
	<b>行為の強制</b>	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためには、この行為が必要です。	 (例) (プラグを抜け)



## 本書で使用する記号とその内容

### 注意の喚起

	感電のおそれのあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意。警告を示します。		レーザー光による傷害を負うおそれがあることを示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		指先をけがするおそれがあることを示します。

### 行為の禁止

	本装置を分解。修理。改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		水や液体がかかる場所で使用しないでください。水に濡らすと感電や発火のおそれがあります。
	特定しない一般的な禁止を示します。		

### 行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。
--	--

## 安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んで理解し、安全に活用してください。  
記号の説明については「安全に関わる表示について」(4ページ)の説明を参照してください。

### 一般的な注意事項

#### 警告



##### 人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない

本製品は医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備および高度な信頼性を必要とする設備などには使用しないでください。これらの設備に本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても当社はいかなる責任も負いかねます。



##### 煙や異臭、異音が生じたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、直ちに装置の電源を OFF にした後、本体装置の電源コードをコンセントから取り外してください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



##### 針金や金属片を差し込まない

アダプタに金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。



##### 消毒液が付着した手指で取り扱わない

装置の操作やオプション製品の取り付け取り外しは、消毒液が手指に付着した状態で行わないでください。消毒液が本機に付着することにより腐食、故障および発煙・発火の原因となる恐れがあります。

#### 注意



##### アダプタに水や異物を入れない

アダプタに水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源を OFF にして、電源コードをコンセントから抜いてください。分解しないで、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

## 設置・移動・保管・接続に関する注意事項

### 注意

#### 指定以外のインタフェイスクーブルを使用しない

インタフェイスクーブルは、適合するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のクーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェイスクーブルの取り扱いや接続について、次の注意をお守りください。



- 破損したクーブルコネクタを使用しない
- クーブルを踏まない
- クーブルの上にものを載せない
- クーブルの接続がゆるんだまま使用しない
- 破損したクーブルを使用しない

適合するクーブルについては「6.2 クーブルについて」(21 ページ) を参照してください。

#### 腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。



また、ほこりや空气中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。

もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

## 廃棄・譲渡に関する注意事項



- 本製品を廃棄する場合は各自治体の条例に従ってください。詳しくは、各自治体にお問い合わせください。
- 本製品を他人に譲渡する場合は、本書および添付品すべてを必ず一緒に渡してください。

## 取扱注意事項

### 警告



#### 分解・修理・改造はしない

本製品を分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。  
感電や火災の危険があります。



#### 本体装置の電源コードを抜く

本体装置への取り付け・取り外しをするときには、必ず電源コードをコンセントから外してください。感電するおそれがあります。



#### 光線を直視しない

光モジュールはクラス 1 レーザ光線を使用しています。このレーザ光線は、人体への影響はほとんどありませんが、動作中は光コネクタ端子を覗きこまないでください。

### 注意



#### 高温に注意する

本体装置の電源を OFF にした直後は、装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け／取り外しを行ってください。



#### 人体から静電気を放電してから取り扱う

静電気による部品の破壊を防ぐため、アダプタに触れる前には、必ず人体から静電気を放電してください。



#### アダプタ上で塗装されていない金属部分には触れない

アダプタの通信ポートや、各部品の端子部、およびアダプタ上で塗装されていない金属部分には、決して触れないでください。汚れや腐蝕等により、接触不良が発生するおそれがあります。また、濡れた手や汚れた手で触れないでください。



#### アダプタを無理に挿入しない

アダプタを本体装置に搭載する際は、無理に挿入しないでください。その際アダプタ、および本体装置を破損するおそれがあります。




#### ケーブルは確実に接続する

ケーブル接続時は、カチッという音がするまでケーブルコネクタを挿入してください。

# 静電気対策について

## 製品の取り付け／取り外しについて

### 準備確認事項

- 
- (1) 危険防止及び故障防止のため作業を行なう際には、本体装置の電源スイッチをOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。但し、ホットスワップ（活線挿抜）対象製品の取り付け／取り外し時の電源スイッチのOFFおよび電源プラグのコンセントからの取り外しは除きます。
  - (2) 本製品は静電気に弱い電子部品で構成されています。製品の取り付け／取り外しの際は、静電気による製品の故障を防止するため静電気対策用リストストラップなどの装着により静電気を除去してください。また、リストストラップを使用する場合は、接地された箇所に接続して使用してください。

### (3) ケーブルの取り扱い

LANケーブル等のケーブルを接続する場合も床面との摩擦によって静電気が帯電することがあります。帯電した状態で出入機器に接続すると機器を破壊することがありますので接続する前には除電キット等を使用して除電することを推奨します。

#### 注) 静電気除電キットについて

下記の静電気除電キットについては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご相談ください。

品名：LANケーブル除電治具

型名：SG001（東京下田工業（株）製）

# はじめに

このたびは、本製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。本製品の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。




## 本書について

本書は、本製品を正しくセットアップし、安全に使用できるようにするための手引きです。製品のセットアップを行うときや製品の取り扱いがわからないときなどにご利用ください。

本書は常に製品のそばに置いて いつでも見られるようにしてください。

## 本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全に関わる注意記号のほかに、3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり装置を正しくお取り扱いください。

 <b>重要</b>	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や、特に注意すべき点を示します。
 <b>チェック</b>	装置やソフトウェアを操作する絵で、確認しておく必要がある点を示します。
 <b>ヒント</b>	知っておくと役立つ情報や、便利なことを示します。

# 1. 本製品について

## 1.1. 特徴

1000BASE-T 接続 LOM カード(4ch)(N8804-027/027L)は、下記装置に対応する LOM カードです。

- ・ Express5800/R32Bb-E2

本製品の取り付けに関する詳細は、本体装置のユーザズガイドに記載しています。

本体装置に添付している「スタートアップガイド」を参照して、ユーザズガイドを検索してください。

1000BASE-T 接続 LOM カード(4ch)(N8804-027/027L)は 1000BASE-T に対応した RJ-45 ポートを 4 基有しています。

この通信ポートを通してポートあたり最大 1Gbps(片方向)の通信を可能にします。



- **弊社が指定する本体装置以外には搭載しないでください。**

接続可能な本体装置は、本製品を購入された販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。



**本製品を取り付ける前に、本体装置の取扱説明書を参照してください。**

## 1.2. 各部の名称と機能

本製品の各部の名称とランプ表示については次ページ以降で製品ごとに説明します。

各部の機能については次のとおりとなります。

- **LAN ポート (N8804-027/027L)**

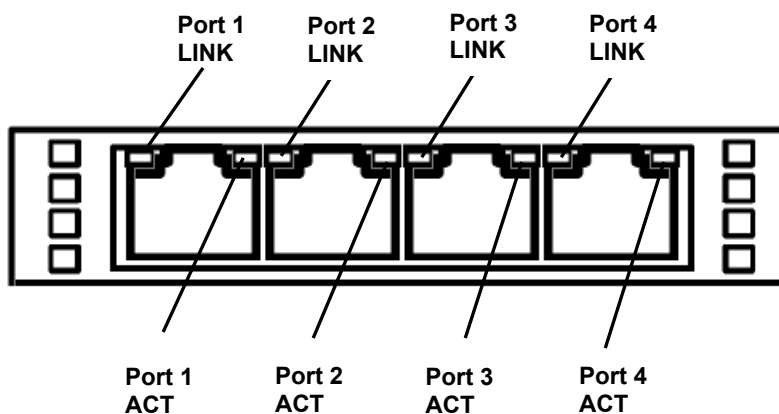
ネットワークに接続するための RJ-45 形状のコネクタです。接続可能なケーブルは「6.2 ケーブルについて」(21 ページ)を参照してください。

- **PCI-Express®規格**

PCI-EXPRESS 規格に準拠しています。論理接続レーン数は次のとおりです。

型番	準拠規格	論理レーン数
N8804-027/027L	PCI Express 2.0	X4

# N8804-027/027L



ランプ	状態	意味
LINK	点灯(緑)	100Mbps でリンクが確立しています。
	点灯(橙)	100Mbps または 10Mbps でリンクが確立しています。
	消灯	リンクパートナーと正常に接続できていません。(リンクダウン)
ACT	点滅(緑)	データの送受信があることを示します。
	消灯	データの送受信がないことを示します。



本製品の LINK ランプは 100Mbps/10Mbps で橙色に点灯しますが、さらに接続速度を判別するためには、自装置での OS 上でのリンク情報、またはリンクパートナー(ハブ装置等)での速度表示を参照してください。

## 2. 本体装置への取り付けと取り外し

本製品の取り付け・取り外し作業については、本体装置のユーザーズガイドを参照して作業してください。



- 必ず本体装置のユーザーズガイドを参照して、本製品の取り付け・取り外しを行ってください。
- ラックタイプ装置のトップカバーを外す際は、先にケーブルを外してください。ケーブルを破損することがあります。

### 警告



#### 本体装置の電源コードを抜く

本体装置への取り付け・取り外しをするときには、必ず電源コードをコンセントから外してください。感電するおそれがあります。

### 注意



#### 高温に注意する

本体装置の電源を OFF にした直後は、装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取り外しを行ってください。



#### 人体から静電気を放電してから取り扱う

静電気による部品の破壊を防ぐため、アダプタに触れる前には、必ず人体から静電気を放電してください。



#### アダプタ上で塗装されていない金属部分には触れない

アダプタの通信ポートや、各部品の端子部、およびアダプタ上で塗装されていない金属部分には、決して触れないでください。汚れや腐蝕等により、接触不良が発生するおそれがあります。また、濡れた手や汚れた手で触れないでください。



#### アダプタを無理に挿入しない

アダプタを本体装置に搭載する際は、無理に挿入しないでください。その際アダプタ、および本体装置を破損するおそれがあります。



#### ケーブルは確実に接続する

ケーブル接続時は、カチッという音がするまでケーブルコネクタを挿入してください。

## 3. ドライバー/ファームウェアのセットアップ

本製品をご利用いただくには、本体装置及びご使用オペレーティングシステムに適合したファームウェア及びドライバをインストールする必要があります。

### 3.1. ファームウェアのセットアップ

本製品のファームウェアは、本体装置の"Starter Pack"に収録されています。

Starter Pack は、下記 URL に掲載されています。

本体装置及びご使用オペレーティングシステムに適合した Starter Pack を使ってファームウェアを適用してください。

ファームウェア適用方法も Starter Pack 掲載 URL に掲載されています。

NEC サポートポータル

<https://www.support.nec.co.jp/>

### 3.2. ドライバのセットアップ

ドライバのインストール方法については下記を参照してください。

#### 【Linux の場合】

適用方法については、本体装置のインストレーションガイドを参照してください。

本体装置のインストレーションガイドは、下記 URL に掲載されています。

対象装置のマニュアルを参照願います。

NEC サポートポータル

<https://www.support.nec.co.jp/>

#### 【Windows の場合】

本製品のドライバは、本体装置の"Starter Pack"に収録されています。

Starter Pack は、下記 URL に掲載されています。

本体装置及びご使用オペレーティングシステムに適合した Starter Pack を使ってドライバを適用してください。

NEC サポートポータル

<https://www.support.nec.co.jp/>

## 4. トラブルシューティング



- 本章では各事象に対する確認のため本製品の取り外し/取り付けを前提とした作業を記載しています。事前に必ず取扱注意事項をお読みください。
- 必要に応じて本製品をお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。

### 4.1. システムが起動できない場合

#### カードの取り付けを確認してください

- **取り付けは正しいか**  
本体装置のスロットに、カードがしっかりと差し込まれているか確認してください。  
また、ラッチでカードがしっかりと固定されていることを確認してください。  
該当する場合は、取り付けなおしてください。
- **コネクタなど本体装置側に異常はないか**  
本体装置のカードエッジコネクタを確認し、異物混入や部品破損がないか確認してください。  
部品破損等ある場合は本製品をお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。
- **本体装置の BIOS のバージョンは適切か**  
BIOS のバージョンが適切か確認してください。  
最新の BIOS で確認してください。

#### カードを確認してください

- **カードが破損していないか**  
カードの実装部品が破損していないか確認してください。  
破損している場合は本製品をお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。
- **カード実装部品に異物が入り込んでいないか**  
カード上の実装部品に異物が入り込んでいないか確認してください。  
混入している場合は本製品をお買い求めの販売店または保守サービス会社に連絡してください。
- **カードのカードエッジコネクタに異物が付着していないか**  
カードのカードエッジコネクタに異物が付着していないか確認してください。  
付着している場合は取り除いてください。
- **カードのファームウェアバージョンが適切か**  
本体のサポートする Starter Pack に収録された SPP(Standard Program Package)を起動して確認してください。  
カードを追加導入する場合や保守部品と交換する場合にも、SPP によりファームウェアを更新してからお使いください。

## 4.2. ネットワークに接続できない場合

### ケーブルを確認してください

- **ケーブルラッチは正しくかかっているか**  
ケーブルのラッチを確認してください。  
ラッチがかかっていない場合はケーブルをつけなおしてください。  
ケーブルのラッチが破損している場合は、異なるケーブルに交換してください。
- **ケーブルが折れ曲がったりしていないか**  
ケーブルが極度に折れ曲がっていないか確認してください。  
損傷がある場合は正常なケーブルに交換してください。
- **ケーブルは仕様を満たしているか**  
本製品を接続可能なケーブル仕様に適合しているか確認してください。  
適合していない場合は、適合するケーブルを準備して接続してください。  
「6.2.ケーブルについて」(21 ページ)を参照してください。
- **ケーブルの先端が破損または塵埃が付着していないか**  
ケーブルの先端が破損しているか確認してください。また、先端に塵埃付着や汚損のないことを確認してください。  
破損のある場合はケーブルを交換してください。塵埃付着や汚損の場合は除去してください。

### SFP モジュールを確認してください

- **指定外の SFP モジュールを使用していないか。**  
指定の SFP モジュールを使用していることを確認してください。  
使用していない場合は、動作保証対象外となります。
- **SFP モジュールは奥まで差し込まれているか。**  
SFP モジュールの接続状況を確認してください。  
SFP モジュールはレバーをおろさずにスロットに挿入します。正しく挿入できた際には「カチッ」と音がしますので確認してください。
- **SFP モジュールの光コネクタ内部に塵埃が付着していないか。**  
SFP モジュールの発光/受光部に塵埃が付着していないか確認してください。  
取り除ける場合は取り除いてください。



確認作業はかならず SFP モジュールを取り外してから行ってください。



#### 光線を直視しない

SFPジュールは通信にクラス1 レーザ光線を使用しています。このレーザ光線は、人体への影響はほとんどありませんが、動作中は光コネクタ端子をのぞきこまないでください。

## リンクパートナーを確認してください

□ **リンクパートナー機器の設定は正しいか**

接続先のネットワーク機器(スイッチングハブ,ルータ等)の設定が適切か確認してください。  
適切でない場合は見直してください。

**以上の項目を確認したにもかかわらず、問題が解決しない場合は、本製品に何らかの故障が発生している可能性が考えられます。本製品をお買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせください。**

## 5. 運用における注意事項

1. UEFI 環境での PXE ブートをサポートしています。

ホットプラグ、スワップ、リムーブはサポートしていません。

2. システムユーティリティにおける BIOS/Platform Configuration(RBSU)・システムコンフィグレーション(System Configuration)での、本カードに関する設定メニューについては、指示がない限りは変更しないでください
  - ・設定項目名から想起される動作と異なることがあります。
  - ・OS 上での設定に反映されるものではありません(通信速度など)。
  - ・非サポート機能の項目も表示されますが、変更しないでください。
  - ・システムユーティリティにおいて、[F7 Defaults]を選択実行しないでください。
3. 以下の機能はサポートしていません。
  - ・ SR-IOV(Single Root I/O Virtualization)
  - ・ NPAR(Network Partitioning)
  - ・ RoCE(RDMA over Converged Ethernet)
  - ・ DPDK(Data Plane Development Kit)

## 6. 仕様

### 6.1. 製品仕様

N8804-027 1000BASE-T 接続 LOM カード(4ch)

N8804-027L 1000BASE-T 接続 LOM カード(4ch)長期保守対応モデル

インタフェース	内部	PCI-Express® 2.0 準拠	
データレート	PCI-Express®	5GT/s x4 レーン (Gen.2)	
	LAN	10M/100M/1Gbps,全二重 x4port	
コネクタ	内部	PCI-Express® x4 レーン (Gen.2)	
	外部	RJ-45 コネクタ	
コントローラ	Broadcom・BCM 5719		
外形寸法	OCP 3.0 Design Specification, Small Form Factor		
重量	80g		
消費電力	最大	4.69W	
環境条件	動作	温度 0~55℃	ただし結露なきこと
		湿度 10~90%	

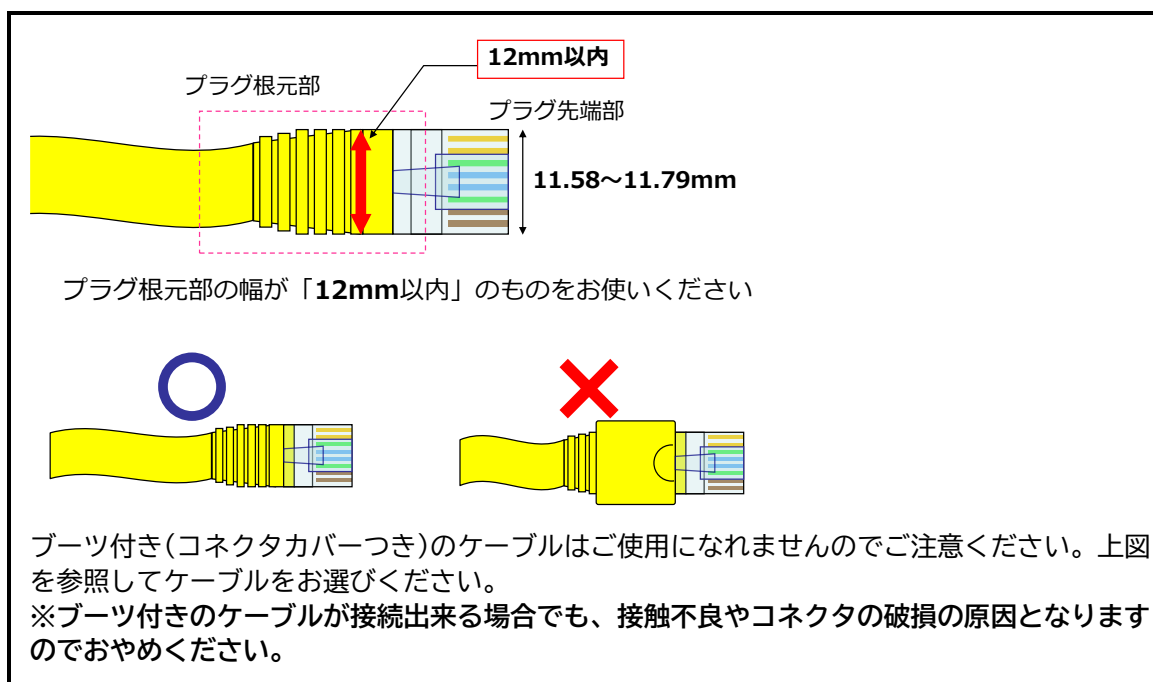
## 6.2. ケーブルについて

### N8804-027/027L

本製品の LAN ポートは 10Base-T/100Base-TX/ 1000Base-T に対応しています。

ネットワークに接続するには、以下の仕様のケーブルをお使いください。

コネクタ	RJ45 / オス	
ケーブルタイプ	ツイストペアケーブル( UTP / STP ) 8 芯 4 ペア	
規格	EIA/TIA 規格準拠	
	*使用される通信速度により要求されるケーブルの品質が異なります。	
	10Base-T	Cat. 3 以上
	100Base-TX	Cat. 5 以上
1000Base-T	Cat. 5e 以上	
ケーブル長	最大 100m	



---

N8804-027	1000BASE-T 接続 LOM カード(4ch)
N8804-027L	1000BASE-T 接続 LOM カード(4ch)長期保守対応モデル

---

## ユーザーズガイド

2026年5月 1版

---

### 日本電気株式会社

東京都 港区 芝 5丁目7番1号

TEL (03)3454-1111(大代表)